

平成23年度 大学の世界展開力強化事業構想の概要【米国大学等との協働教育の創成支援】

大学名	関西学院大学
構想名称	日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム「クロス・カルチュラル・カレッジ」
相手大学等名 (国名)	マウント・アリソン大学(カナダ)、トロント大学(カナダ)、クイーンズ大学(カナダ)

【構想の目的及び概要】

■ 目的

典型的な多文化社会であるカナダの3大学、マウント・アリソン大学(以下、「MtA」)、トロント大学(以下、「UofT」)、クイーンズ大学(以下、「Queen's」)と、英語による日本・東アジア研究プログラムを持つ関西学院大学(以下、「関学」)が連携し、異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら、グローバル社会の持続的な発展と日本の成長に寄与する専門的実践力とリーダーシップを持った世界市民を育成する。

■ 概要

1. **クロス・カルチュラル・カレッジの構築** 関学とカナダ3大学が協働で Cross-Cultural College (以下、「CCC」)を構築して、Cross-Cultural Studies をテーマとし、日加両国の学生が参加する学士レベルの Certificate プログラムと、関学の学生のみを対象とする3コース制の副専攻プログラム(複数分野専攻制 MDS)を提供する。

2. Certificate プログラム

- (1) **【日加の学生が協働】** Certificate プログラム(使用言語は英語)は、CCC の中核に位置づけられ、多文化共生論や国際関係論などの基礎的な授業科目と、日加両国の学生混成型の合同ゼミや国内外でのインターンシップを必修科目とし、具体的な共同作業を礎に高度な異文化理解・コミュニケーション力を獲得する。
- (2) **【新規科目の共同開発】** CCC 参加大学は、ICT 技術を活用した eラーニングを積極的に取り入れながら、日加両国の学生が協働して課題を発見し、解決を行う実践的な教育科目を共同で新規開発・運営する。
- (3) **【修了証書の授与】** 所定の条件を満たした学生には、CCC がプログラム修了証書を授与する。
- (4) **【学位プログラムへの発展】** 将来的には、カナダの参加大学との間で CCC における協働を基礎としてダブルディグリーやジョイントディグリー制度の構築を目指す。

3. 副専攻プログラムの設置

- (1) **【3専修の副専攻プログラム】** 関学生対象に、英語を主な使用言語とする国際ビジネス、国際協力・行政、国際学・地域研究の3専修の副専攻を設置し、専門分野を生かし国際的コミュニケーション能力を育成する。
- (2) **【英語運用能力の重点的強化】** 副専攻プログラムは、上述の Certificate プログラムを履修できるレベルに学生を育成することを目的の一つとする。関学内での能力別の実践的な英語力養成プログラムを重点的に提供するほか、海外で行われる留学科目(英語研修や英語中期留学等)を選択必修とし、自らの具体的な国際体験・学習を通して、異文化社会についての理解を深めさせる。
- (3) **【副専攻プログラム修了証書の授与】** Certificate プログラムの科目の一部を含む所定の課程を修めた学生には、副専攻プログラムの修了と認め、関学の複数分野専攻制 MDS 修了証書を授与する。

4. 質の保証、外部との連携

- (1) **【参加大学と外部識者による教育の質の保証】** 各大学代表からなる共同運営委員会を中心に、参加大学が協働でプログラムを開発、運営する。共同運営委員会の下、各大学の教務担当教員からなる共同教務委員会を設置して、カリキュラム全体の構成や授業内容を共同で検討、確認する。さらに、協働で開発する科目については、教務の統一的ガイドラインを設け、授業内容の定期的な点検と自己評価を行う。さらに、実社会のニーズを反映した実践的な教育の質を保証し、プログラム内容に対する第三者評価を行うため、外部識者からなるアドバイザリーボードを設け、定期的に助言・講評を求める。
- (2) **【外部の学生への提供】** 本学が加盟する「日加戦略的留学生交流促進プログラム日本コンソーシアム」や「大学コンソーシアムひょうご神戸」参画校等、外部の学生も参加可能な開かれたプログラムづくりを目指す。

【構想の概念図】



典型的な多文化社会であるカナダの協定大学と関西学院大学が連携し、

異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら
グローバル社会の持続的な発展と日本の成長に寄与する世界市民リーダーズを育成

【 Cross - Cultural College 】

CCC 参加大学の代表からなる共同運営委員会

- プログラムの共同開発と運営

各大学の教務担当教員からなる共同教務委員会が“質を保証”

- カリキュラム全体の構成や授業内容を共同で検討、確認

使用言語は
英語

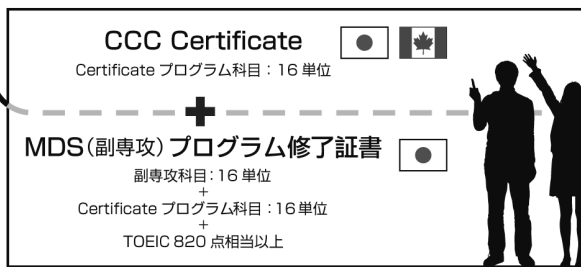
【 Certificate プログラム 】

高度な異文化理解・実践的なコミュニケーション能力を育成するための必修科目

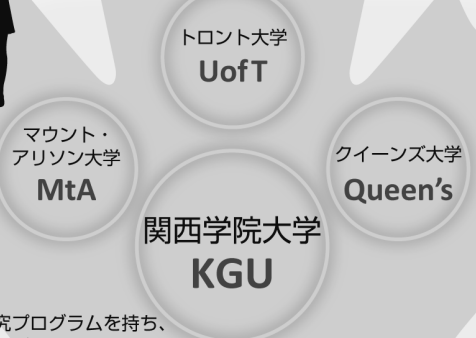
多文化共生論や国際関係論などの中核科目

日本、カナダの学生混成型

国内外でのジョイント・セミナーやインターンシップ



eラーニングを活用しながら、
両国の学生が協働し、
課題発見・解決を行う
実践的な教育科目



【 CCC をめざす関学生のための 3 つのコースの副専攻プログラム 】

国際ビジネス コース

国際協力・行政 コース

国際学・地域研究 コース

国際社会で不可欠な教養を身につける共通科目と、実践を重視した専攻別科目で構成

海外で行われる留学科目を必修とし、参加学生の国際的な異文化理解および実践経験・学習を重要視

英語運用能力を強化する実践的な英語力養成プログラムを拡充して提供

学界、産業界、国際機関 外部識者からなる
アドバイザリーボード

助言 外部評価

外部組織からの
認証評価

関西学院大学による
自己評価

日加戦略的留学生交流促進プログラム
日本コンソーシアム

大学コンソーシアム
ひょうご神戸

平成23年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	関西学院大学
タ イ プ	B-II
構 想 名	日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム「クロス・カルチュラル・カレッジ」
<p>〔評価コメント〕</p> <p>貴学がこれまで蓄積してきたカナダ3大学との交流実績をさらに一歩進め、これらの大学と協働で“世界市民リーダーズ” 育成に向けた独自の教育プログラムを開発し、さらにそれを制度化（Certificateを授与するCross-Cultural Collegeの創設）していこうとする本構想は、単なる学生・教員の往来といった旧来型の交流事業を超えた新しいモデルを提示するものであり、本事業の趣旨に合致したものである。また、日本から教育内容を国際的に発信しようとする姿勢も評価できる。さらに質保証への配慮もなされており、派遣・受け入れ態勢も整っているように見受けられる。</p> <p>しかしながら、意欲的な試みだけに、カナダ側の意向やニーズにも配慮して、あまり拙速にせず先方との協議を十分重ねた上での実施が望まれる。</p>	